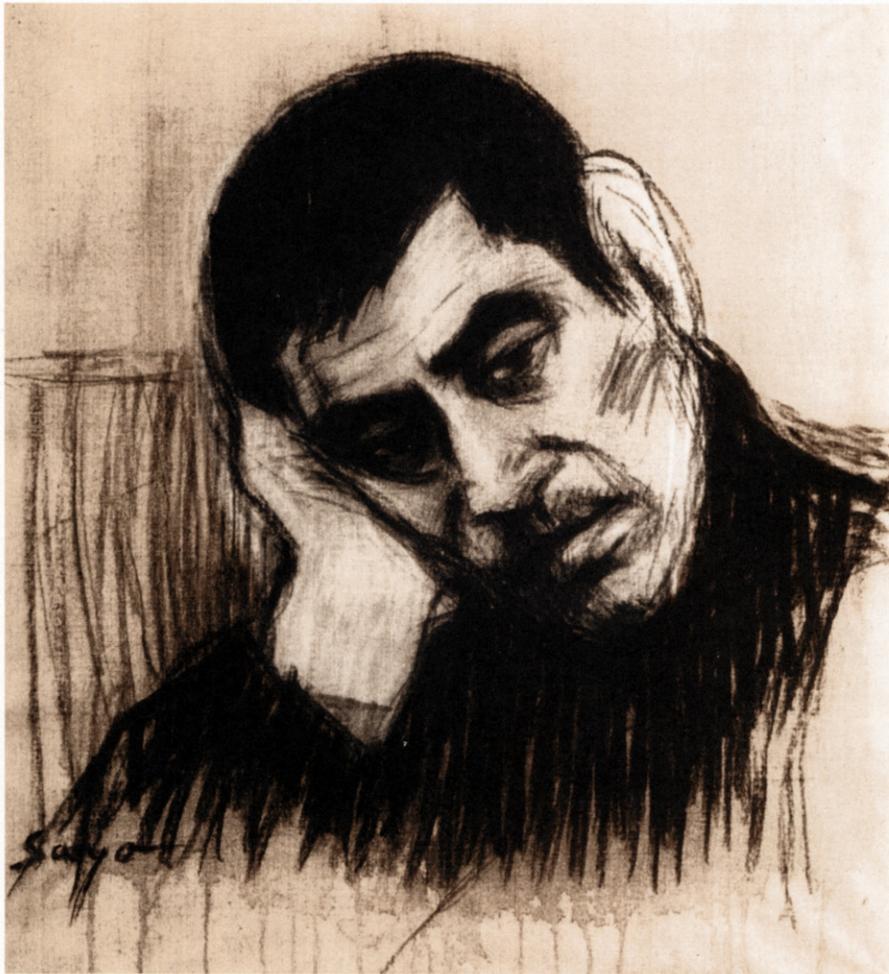


特集

高倉健映画祭 へ第一部



シネラ・ニュース
January.2003 No.78



「セーター」画:福山小夜 (『冬の旅人「高倉健の肖像」』より)

1

収蔵映画特集

トルコ映画特集

トルコ 収蔵映画特集

映画特集

日本ではほとんど公開される機会のないトルコ映画。過去のアジアフォーカス・福岡映画祭で上映されたトルコ映画を上映。

会期：23日(木)～26日(日)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

今回上映する三本のトルコ映画はいずれもアジアフォーカス・福岡映画祭で上映され、図書館で収蔵したものです。トルコ映画といえば、かつてユルマズ・ギュネイ監督の作品が劇場公開されたことがあり、近年もわずかながらトルコの作品が劇場で上映されています。トルコは毎年ある程度の映画製作本数がある国ですが、しかしその作品が日本で上映されることはめったにありません。今回の三本からはトルコの抱える社会問題と同時に、トルコの文化的な特徴を覗くことができるでしょう。ヨーロッパとアジアの境目に位置し、イスラム文化圏でありながらヨーロッパの香りを漂わせるトルコ。日本からは最も遠いアジアの国ですが、映画を見ることでトルコという国を少しでも身近に感じる事ができます。

トルコからドイツに出稼ぎに来ている主人公のバイラムは、お金をためて念願のベンツを手に入れる。車に乗って帰りをしようとするバイラムだが、道中様々な災難が降りかかってくる。果たして彼とベンツは無事故郷にたどり着けるだろうか。ベンツを過剰に大切に扱うバイラムを、主演のイルヤス・サルマンが軽妙に演じている。

監督：パイ・オカン

出演：イルヤス・サルマン ヴァレリー・ルモワン

1993年/35ミリ/カラー/98分/トルコ



23木
14:00

25土
11:00

Mercedes, Mon Amour メルセデス、わが愛

日本語・英語字幕付き

トルコ東南部の山岳地帯。ムラット隊長率いるトルコ軍の部隊はクルド人の反乱軍を追いつめていく。雪山の中で激しい銃撃戦が展開され、最後に生き残ったのはクルド人のリーダー、セイドとムラットだけになる。トルコにおけるクルド人問題を扱った問題作で、雪の山岳地帯を舞台にした撮影に目をみはる作品である。

監督：レイス・チェリッキ

出演：ベルハン・シムシェッキ タールク・タルジャン

1996年/35ミリ/カラー/84分/トルコ



23木
18:30

24金
14:00

26日
15:00

Let There Be Light そこに光を

日本語・英語字幕付き

70年代、トルコ政府はアメリカと相互条約を結び、ソ連の脅威から逃れようとしていた。この映画はアメリカ支配に異を唱えた学生運動のリーダー、デニス・グズミスの活動を描き、彼の死刑判決に疑問を投げかける。10年の歳月をかけて完成した問題作で、トルコの民主主義に対する監督の疑問が描かれている。

監督：レイス・チェリッキ

出演：ベルハン・シムシェッキ ギョネン・ボズベイ

1998年/35ミリ/カラー/115分/トルコ



24金
18:30

25土
15:00

26日
11:00

Goodbye Tomorrow グッバイ・トゥモロー

日本語・英語字幕付き



五・二五事件から二・二六事件にいたる歴史を背景に、時代の波に翻弄される一組の男女の悲恋を二部構成で描いた大作映画。昭和七年、仙台連隊の宮城大尉は初年兵の溝口の脱走を聞き、その故郷へ向かう。そこで貧しさのために身売りされる溝口の姉、薫と出会うのだった。高倉健、吉永小百合の名演が見事な作品。

1980年/16ミリ/カラー/150分|東映=シナノ企画|



根釧原野の酪農の町、中標津。そこで酪農を営む母子の許へ、ある春の雨の夜道に迷ったという一人の男(高倉健)が現れる。突然始まった牛のお産を手伝った男は翌朝、どこかへいってしまふ。そして夏になり、再び訪れた男は作男として働くようになる。北海道の四季を折り込みながら描く、過去のある男と未亡人との純愛人情ストーリー。

1980年/16ミリ/カラー/123分|松竹|



函館で脱サラして居酒屋「兆治」を営む村野英次。ある日、彼の幼なじみのさよの家が火事で焼けてしまう。その数日後、姿を消すさよ。英次とさよは昔、恋人同士だったが貧しさゆえに別れたという過去があった。居酒屋に集まる人々のそれぞれの人生の断片を織り込みながら描く悲しい恋の物語。高倉健がそれまでとは異なる役柄で見せている。

1983年/16ミリ/カラー/126分|東宝=田中プロモーション|



元ヤクザの修治は今では小さな漁港で漁師となつて妻子を持ち、幸せな家庭を築いていた。ある日、螢子という女が現れ、バーを開く。螢子の情夫矢島は漁師達を博打に誘い、覚醒剤を売りつけ始める。任侠映画の独特の映像美を現代的に蘇らせた演出と、修治役の高倉健、螢子役の田中裕子などキヤスティングが見事な作品。

1985年/16ミリ/カラー/127分|グループ・エンカウンター=東宝|



向田邦子原作の文芸映画。太平洋戦争直前の東京。門倉(高倉健)と水田は無二の親友だが、その一方で門倉は水田の妻たみに密かに思慕を寄せていた。男の友情と男女の愛、そして家族の絆を微妙な人間関係のあやの中を描き出す。17年振りの富司純子(旧・藤純子)と高倉健の共演も話題となった。

1989年/16ミリ/カラー/114分|東宝映画=フィルム・フェイス|

16日(木)18:30
19日(日)15:00

動乱

監督：森谷司郎
出演：高倉健
吉永小百合
永島敏行

8日(水)18:30
13日(月・祝)11:00

遙かなる山の呼び声

監督：山田洋次
出演：高倉健
倍賞千恵子
吉岡秀隆

12日(日)11:00
17日(金)18:30

居酒屋兆治

監督：降旗康男
出演：高倉健
加藤登紀子
大原麗子

5日(日)15:00
11日(土)11:00

夜叉

監督：降旗康男
出演：高倉健
いしだあゆみ
田中裕子

13日(月・祝)15:00
19日(日)11:00

あ・うん

監督：降旗康男
出演：高倉健
富司純子
板東英二

特集 高倉健 映画祭

第一部

平成14年1月にシネラで開催した「高倉健特集」をきっかけにして、高倉プロモーションより高倉健出演作品の16ミリフィルムが寄託されました。今回の「高倉健映画祭」ではこれらの作品を三部構成に分けて上映し、俳優・高倉健の軌跡をたどっていきます。

第一部にあたる今回は、いわゆる任侠映画後の代表作を中心に上映します。任侠映画時代に形作られ、なかば神格化されたストイックで精悍な「高倉健」のイメージを残しながら、アウトローの時代から、より庶民的、現実的な世界へと変化していく過程は、時代そのものの変化を明らかに象徴しています。

また今回は併せて映画評論家の佐藤忠男氏による講演会も予定しております。

主催／福岡市総合図書館
協力／株式会社高倉プロモーション、東映株式会社、東宝株式会社、九州東宝株式会社、松竹株式会社、株式会社角川書店

会期：5日(日)～19日(日)
※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

講演会

「日本映画と高倉健」



佐藤 忠男
(映画評論家)

13日(月・祝) 14:00～14:50

※開場は開演の30分前。入場は有料制で当日の「あ・うん」の観覧料に含まれます。

さとう ただお

1930年生まれ。56年に最初の映画評論集を刊行。以後今日までに100冊以上の著作がある。日本映画については「黒澤明の世界」、「小津安二郎の芸術」、日本映画の歴史を集大成したライフワーク「日本映画史」など。アジアの映画については「韓国映画入門」、「上海キネマポート」などがある。妻の佐藤久子と共同で個人雑誌「映画史研究」を刊行。89年佐藤久子とともに映画による国際交流に貢献した功績によって川喜多賞を受賞。96年、評論活動を通じての長年の日本映画への貢献により紫綬褒章を受賞。アジアフォーカス・福岡映画祭ディレクター。日本映画学校校長。

飢餓海峡

8日(水) 14:00
11日(土) 15:00

監督：内田吐夢
出演：三國連太郎、伴淳三郎、高倉健



巨匠・内田吐夢の戦後の代表作。原作は水上勉。北海道・岩内町でおきた強盗放火事件と青函連絡船転覆事故、2つの事件の間に消えた謎の男・犬飼太吉。太吉は行方をくらます直前、八重という女郎と一夜を共にした。男を思い続けた女の情念と事件を追いつける老刑事の執念。高倉健は伴淳三郎演ずる老刑事を助ける東京の刑事役で出演。

1965年 | 16ミリ | カラー | 183分 | 東映

日本任侠道

激突篇

10日(金) 18:30
16日(水) 14:00

監督：山下耕作
出演：高倉健、大谷直子、渡辺文雄



八王子の市蔵(高倉健)と青梅の参次郎は、市蔵の妻・お幸が参次郎の妹にあたる義理の兄弟であったが、大型工事を巡り二人の間は気まずいものとなる。次郎は、市蔵に対していやがらせを始め、二人の間に挟まれたお幸は自殺してしまう。興行的には振るわず、約10年続いた任侠映画の事実上、最後となった作品。

1975年 | 16ミリ | カラー | 95分 | 東映

新幹線大爆破

9日(木) 14:00
12日(日) 15:00

監督：佐藤純彌
出演：高倉健、宇津井健、山本圭



日本製大型パニック映画の中で完成度の高い作品の一つ。走行中の新幹線に、速度が一定以下に落ちると作動する爆弾を仕掛けたという脅迫電話が国鉄に入る。犯人に翻弄される警察、爆弾発見に全力を傾ける国鉄、そして犯人達限定された時間の中で三者の動きを重層的に描いて、緊迫感を盛り上げていく。高倉健は犯人グループの中心人物を演じ、彼自身の新しい面を垣間見せている。

1975年 | 16ミリ | カラー | 152分 | 東映

八甲田山

10日(金) 14:00
18日(土) 15:00

監督：森谷司郎
出演：高倉健、北大路欣也、栗原小巻



明治時代、日露戦争開戦をにらみ、国威高揚と耐寒訓練を兼ねて二つの部隊が「白い地獄」と恐れられていた冬の八甲田山に挑んだ。少数精鋭で自然に逆らわず行軍する徳島隊と大部隊を組織し強引に自然をねじ伏せようとする神田隊。二つの部隊の迫る運命の対比によって、自然と人間との関係を問いかけていく。高倉健は徳島隊の隊長役を演じている。

1977年 | 16ミリ | カラー | 169分 | 橋本プロ＝東宝映画＝シナノ企画

幸福の黄色いハンカチ

5日(日) 11:00
17日(金) 14:00

監督：山田洋次
出演：高倉健、武田鉄矢、桃井かおり



旅の途中で知り合った若い二人の男女と中年の男(高倉健)は、一台の車で一緒に旅をするようになる。旅の間におきる様々な出来事を通して、人間の心の機微を笑いと涙で描いていく。「寅さん」シリーズの山田洋次監督によるロードムービーの名作であり、同時に任侠映画後の高倉健のイメージを決定づけた作品でもある。

1977年 | 16ミリ | カラー | 108分 | 松竹

野性の証明

9日(木) 18:30
18日(土) 11:00

監督：佐藤純彌
出演：高倉健、薬師丸ひろ子、中野良子



東北のある山村で村民の一人が集落の五戸、十二人を殺害する事件が起こる。自衛隊特殊工作隊員の味沢(高倉健)は、その現場に駆けつけ、十三歳になる頼子を助け出す。味沢は自衛官をやめ、身寄りのなくなつた頼子を引き取り、羽代市に移り住むが、カリフォルニアの米軍演習場での大掛かりな口ケを敢行して話題となった社会派アクション映画の大

1978年 | 16ミリ | カラー | 143分 | 角川春樹事務所

福岡市総合図書館では、アジアのフィルムセンターを目指して、映画フィルムの収集・保存を行っています。今月から、収集した映画の監督・出演者のインタビュー、収集に行った国の情報などを掲載いたします。

今回のゲストは『男人四十』(香港、監督:アン・ホイ)の助演女優カレナ・ラムさんです。

一本作がデビュー作ということですが、略歴をお聞かせください。

私は、カナダ生まれのカナダ育ちです。父が香港出身でしたので、幼い頃から英語以外に広東語が使えました。芸能活動は、15歳で台湾に渡り、歌手としてデビューしたのが始まりです。北京語はできませんでしたが、「英語なまりが可愛いので北京語は上達しないでいい」、と周りから言われました。当時から映画には特別に興味があったのですが、台湾ではアイドル歌手が映画出演しても、女優としてきちんと扱ってもらえない風潮があり、あきらめていました。そして、やっとこの作品で念願の映画とめぐり逢えたのです。

一出演のきっかけはどのようなことでしょうか。

この作品のプロデューサーが、歌手をしていた私に注目してくれたのがきっかけです。香港にオーディションに呼ばれ、監督からテストを受けました。監督からは「この役を演じるには、性格が少し優しすぎる。」と厳しい意見がでました。しかし、私はこれまで経験してきた様々なことを全てさらけ出し、「私には、この役をやりこなすことができます!」と力の限りアピールしました。そして、ようやくこの役を勝ち取ったのです。

一撮影での思い出などがあれば教えてください。

今にして思えば、面白いエピソードがあります。撮影中はいつも、これが私の最初で最後の映画になってしまうのではと不安でした。毎日の撮影が終わると、狭いホテルの部屋で全ての持ち物をスーツケースに詰め込み、明日は役を降ろされて台湾に帰ることになるのではないかと、いつもいつも考えていました。

デビュー作の撮影は、私にとっては全てが初めての経験で、あらゆることに圧倒されましたが、と

ても良い経験になりました。

一本作の後、続けて2つの映画に出演され、一時は香港の至る所で貴方の写真が見られたと聞きましたが……。

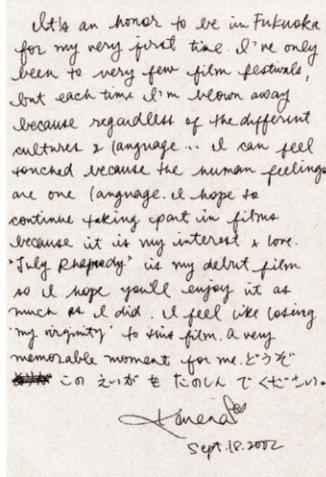


それは大きいです。私の最初の3つの映画に関して言うことは、よいプロデューサー、監督、脚本家、共演者に恵まれたことです。本当にラッキーだったと思います。

2作目はロー・チャーリオン監督の『異度空間』(日本でも邦題『カルマ』で公開予定)で、レスリー・チャンと共演することができました。この映画はスリラーですが、私の役は身体的にも精神的にも難しい役でした。3作目はダンテ・ラム監督の『戀愛行星』で、ニコラス・ツェーと共演のファンタジー・ロマンスです。3つの作品の中では一番素顔の私に近い作品でしたが、ダンサーの役をこなすため一ヶ月の間、毎日3~5時間稽古をしなくてはならず、大変でした。

一大物俳優を相手に、それぞれ異なった役を見事に演じられたと聞いています。最後に今後の出演予定を教えてください。

2003年1月から、キャロル・ライ監督『金魚のしずく』がカンヌ映画祭に正式出品)の作品に出演します。センチメンタルなロマンス物です。頑張りますので、是非福岡の皆さんにも観ていただければと思います。



カレナ・ラムさんからのメッセージ

インフォメーション

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用はアナログ3時間迄、ノンリニア4時間迄)
※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成15年2月号~平成15年3月号までの郵便切手(90円×2ヵ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。
宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課

「高倉健映画祭」今後の予定

第二部 3月5日(水)~16日(日) ※休館日・休映日を除く

「日本侠客伝」「網走番外地」「網走番外地 望郷篇」「緋牡丹博徒」「新網走番外地」「緋牡丹博徒 花札勝負」「日本女侠伝 侠客芸者」「新網走番外地 さいはての流れ者」「昭和残侠传 死んで貰います」「日本侠客伝 昇り龍」「日本侠客伝 刃」「昭和残侠传 破れ傘」

第三部 4月23日(水)~5月5日(月・祝) ※休館日・休映日を除く

「森と湖のまつり」「二・二六事件 脱出」「暗黒街の顔役 十一人のギャング」「暴力街」「恐喝」「ジャコ萬と鉄」「ならず者」「いれずみ突撃隊」「俠骨一代」「山口組三代目」「現代任侠史」「ゴルゴ13」

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

1月

1(水祝) 7年・年始の休館日
4(土)

高倉健映画祭 (第一部)

5(日)	11:00 幸福の黄色いハンカチ	15:00 夜叉
6(月)		休館日
7(火)		休映日
8(水)	14:00 飢餓海峡	18:30 遙かなる山の呼び声
9(木)	14:00 新幹線大爆破	18:30 野性の証明
10(金)	14:00 八甲田山	18:30 日本任侠道 激突篇
11(土)	11:00 夜叉	15:00 飢餓海峡
12(日)	11:00 居酒屋兆治	15:00 新幹線大爆破
13(月祝)	11:00 遙かなる山の呼び声	14:00 講演会
14(火)		15:00 あ・うん
15(水)		休館日
16(木)	14:00 日本任侠道 激突篇	18:30 動乱
17(金)	14:00 幸福の黄色いハンカチ	18:30 居酒屋兆治
18(土)	11:00 野性の証明	15:00 八甲田山
19(日)	11:00 あ・うん	15:00 動乱

20(月)		休館日
21(火)		休映日
22(水)		休映日

トルコ映画特集

23(木)	14:00 メルセデス、わが愛	18:30 そこに光を
24(金)	14:00 そこに光を	18:30 グッバイ・トゥモロー
25(土)	11:00 メルセデス、わが愛	15:00 グッバイ・トゥモロー
26(日)	11:00 グッバイ・トゥモロー	15:00 そこに光を

27(月)		休館日
28(火)		休映日
30(木)		休映日
31(金)		月末休館日



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス: 天神~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約20分)
博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口 (所要時間 昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください

編集雑記

「高倉健映画祭」の実現は、フィルムを寄託いただいた高倉プロモーション、上映を快諾いただいた各映画会社のご厚意の賜です。また、本企画の関連でお世話になりました関係者の方々から伝わってくる「健さん」の人望のあつさにも感謝いたしました。始め良ければということで、今年はきっと良い年になりそうな予感が……。 (H.M)